

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび当行では、平成28年6月24日をもって、取締役会長に宮崎正彦が、取締役頭取に平井耕司が就任いたしました。地域社会への貢献と健全経営に徹する創業以来の基本理念のもと、皆さま方のご期待にお応えできますよう、全身全霊をもって職責を全うする所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、平成27年度は、堅調な企業収益を背景として、設備投資に持ち直しの動きが続いたほか、円安による外国人観光客の増加が景気の下支えとなりました。一方、輸出や生産活動は中国や新興国を中心とする海外経済の減速から弱含んで推移し、また、消費マインドの足踏みが続くなか、総じて景気回復に向けた動きは鈍いものとなりました。これらの動きを受け、年明け以降には日本銀行によるマイナス金利付き量的・質的金融緩和が導入され、長期金利は大きく低下しました。金利低下による設備投資の増加が期待される一方で、海外経済の減速や円高進行などにより企業収益や景況感の下押し圧力となることも懸念されており、先行きに対する不透明感が強まる状況となっております。

このような環境の下、当行では平成27年4月より、中期経営計画「考動と開革Ⅱ27-29」に取り組んでおります。この計画では、急速な少子高齢化や人口減少などの環境

変化に的確に対応し、お客さまとの関係や地域との連携を強化することで、「お客さまの明るい未来と活力あふれる地域を創造する銀行」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月



取締役会長  
宮崎 正彦

取締役頭取  
平井 耕司

## CONTENTS

ごあいさつ	表紙裏
中期経営計画 考動と開革Ⅱ 27-29	P1
特集 とりぎん×地方創生	P2
特集 本格化する人口減少に向けて／鳥取をもっと元気に!	P4
特集 女性の活躍推進に向けた取組み	P6
特集 ゆとりあるセカンドライフに向けて	P8
とりぎんの「いま」(平成27年度決算のご報告)	P10
コーポレート・ガバナンスの状況	P13

法令等遵守(コンプライアンス)態勢	P14
リスク管理体制	P15
お客さま保護への取組み	P19
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	P20
お客さまの安全のために	P26
とりぎんの概要	P27
鳥取銀行の業績	P33